

◎次期「いたばしNo.1実現プラン」中間のまとめに対するパブリックコメントと区の考え方

※件数：23件 人数：18人

No.	意見の概要	件数	区の考え方
1	家庭・学校・地域との連携による教育力の向上、産業の活性化等、「選択と集中」に基づいた方向性がかかなり盛り込まれている印象を受けました。あとは、これらを実現するための財源の問題が出てくるのではないのでしょうか。	1	次期「いたばしNo.1実現プラン」は、平成23年度から25年度までの財政計画に基づき策定されています。また、この計画を推進する原動力として、計画期間を同じくする行財政改革の推進計画となる「板橋区経営革新計画」を策定し、将来を見据えた堅実な財政基盤の確立に努めていきます。
2	今後、活動が始まるであろう地域会議、学校支援地域本部等の地域の団体等のネットワーク。これらをつなぐ拠り所となる自治基本条例。仕組みづくり後の具体策を考える必要もあるのではないのでしょうか。	1	自治基本条例の制定については、区民ワークショップの中の議論を踏まえて、今後、地域の協働をさらに進める仕組みづくりなどの具体策について、検討を深めていきます。
3	区民の協働についての記述がありません。～進めます、～やります、という書き方なので、全部行政がやってくれると思わせる。この次期「いたばしNo.1実現プラン」を本当に実現するための区民のやるべき仕事を具体的にまとめあげるためのワークショップ又は協議会などを招集してください。	1	次期「いたばしNo.1実現プラン」を進める上で、全体に共通する考え方の一つとして、「協働関係の形成」があります。この計画の推進にあたっては、区民との協働をより一層進めるとともに、区民同士の新しい協働関係の形成を支援することによって、様々な区政課題を地域全体で解決していく視点を大切にしていきます。
4	老後が不安ですが、区の実施計画では安心できる老後を板橋区で送ることができるのでしょうか。	1	高齢者の方々が、住み慣れた地域で、近所の人たち、家族と生活ができるように高齢者の方々を見守る地域ケアの体制づくりを検討していきます。
5	私は、体育館を利用している区民ですが、今度の実施計画を読むと、スポーツの振興はないのですが、大丈夫でしょうか。	1	次期「いたばしNo.1実現プラン」では、高島平温水プールや小豆沢体育館温水プールの改修を計画しており、スポーツの振興に取り組んでいきます。
6	私は70歳まで働きたいのですが、自分では職を探せません。実施計画ではどうなっているのでしょうか。	1	区では、これまでもシルバー人材センターやアクティブシニア就業支援センターの事業を支援してきましたが、さらに、ワンストップでシニア世代の就労や生きがいづくりを支援できるよう、シニア活動センターを開設する予定です。
7	子どもが生まれて、長男は小学生、次男は保育園です。落ち着いたら、板橋区で安心して働くことができるのでしょうか。	1	地域の中で子育て支援者を養成するなど、地域ぐるみの子育て支援の強化に今後も取り組んでいきます。特に、小学生の放課後の居場所づくりにおいては、あいキッズを全小学校で実施するほか、急増する保育園の入園待機児数を解消するため、保育サービス定員を1000名増やします。板橋区は、働くお母さんを応援します。
8	板橋区に工業があるのでしょうか。家の近くの商店街は、昼間でも営業していない店が多いです。実施計画ではどうするのですか。	1	板橋区は、とても工業が盛んな区です。小さい工場がとても多くて、新河岸や舟渡などの地区に工場が集まっています。商店街は空き店舗が多くなっていますが、地域にとって商店街は非常に重要な場所ですので、地域とともに発展する商店街として振興していきます。
9	実施計画とは異なる要望等	15	主管部署に伝えます